



International Beauty Federation Member's Magazine

Linque.

vol. 83

Hair&Makeup:Aya Hatashita Model:Lera Photo:Ayako

the 19th IBF makeup photo contest

第19回IBFフォトコンテスト

第19回IBFフォトコンテスト概要

主催：IBF国際美容連盟

協賛：大手化粧品ブランド様にご協賛いただく予定です。詳細は次号。

審査員：Linda Mason、Motoko Honjo Clayton他

締切：2024年11月30日（土）必着 ※今回から締切が変わります、ご注意ください。

発表：結果発表は2025年2月末日発行の会報誌で公表。

賞品：グランプリ1名（フォトセッションご招待）、その他化粧品など豪華賞品を予定しています。ジョイタス株式会社様より副賞としてクリスタル記念品も贈呈します。

※応募作品はすべてデジタルデータで送っていただきます。紙焼き、プリントしたものは受け付けませんのでご注意ください。

2024年、第19回IBFフォトコンテストのテーマを発表します！

【Hooked on 60's —60年代に首ったけ—】

1960年代のインスピレーションでメイクアップ作品を制作してください。

IBFでは「メイクアップヒストリー」を学ぶことの重要性に着目し、関連するセミナーも多数開催しています。

今回テーマとして取り上げるのは、メイクアップの歴史の中でも特に重要な1960年代。

コンテストに応募される方は、ほぼ原体験として1960年代をご存知の方は少ないはず。

ご両親あるいは祖父母などに話は聞いたことがあるとか、映画やTVなどで多少知っていることもある、という方がほとんどでしょう。



1960年代に流行した事柄、世相、時代を象徴するアーティスト、女優などを列挙してみましょう。どこからインスピレーションを得て作品を創るか？参考にしてください。

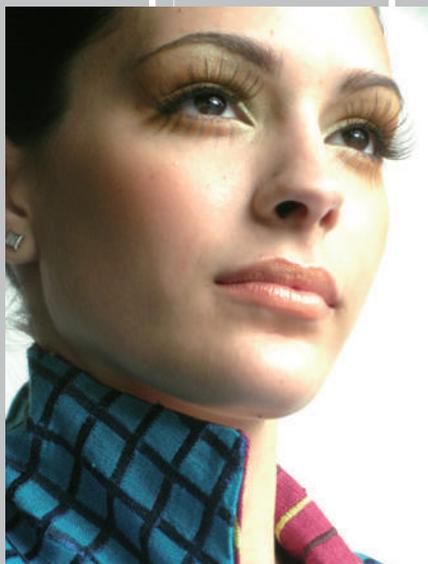
ブリジッド・バルドー、ソフィア・ローレン、シルヴィ・バルタン、カトリーヌ・ドヌーヴ、ジェーン・バーキン、ツイッギー、ビートルズ、ローリングストーンズ、シュウ・ウエムラ、マリー・クワント。

ベトナム戦争、ケネディ大統領暗殺、東京オリンピック、新幹線開通、アポロ月面着陸、カラーテレビ登場、安保闘争、ベルリンの壁建設、キューバ危機。

メイクアップの特徴としてよく言われているのは、大胆なつけまつげ、ダブルライン、極端なまでのアイライン。小麦色の肌、シャーベットトーンなど淡い色のリップ。カラーテレビの普及、衛星放送による世界同時中継などで、世界が身近になり、メイクアップの幅が大きく広がった時代と言えるでしょう。

じっくり歴史を学びながらメイクアップのヒントを得てください。





今年もLinda Mason、エミー賞2年連続受賞のMOTOKOさんが審査員に加わっていただきました！2人とも皆さんからの作品を楽しみにしています！詳しい応募要項などは次号で発表します。



●応募時の注意事項：

- ・デジタルデータで応募いただきます。データ形式はJPEGのみです。「jpg」「jpeg」に変換してご応募ください。
- ・生成AIなどを使った作品は審査対象となりません。
- ・画像処理ソフトによる極端な加工が認められた場合、審査対象から外すことがあります。
- ・応募作品の返却はできません。
- ・応募作品はIBF会報誌、ホームページ、その他一般媒体で公開することがあります。
- ・作品の著作権は撮影者に帰属しますが、作品を上記に使用する権利は主催者が所有し、応募者は、無償でこれを許諾するものとします。被写体の肖像権の問題、または作品に第三者の許諾が必要になる場合などの責任はすべて応募者が負うものとします。
- ・肖像権その他の権利上の紛争が起きた場合、その費用も含めすべての責任は応募者が負うものとします。
- ・他のコンテストなどに重複応募した作品は、応募しないでください。各賞の譲渡、転売はできません。

2024年、第56回ミス日本コンテストが開催！受賞者は以下の通り。皆さん1年間ミス日本として活動されます。活動は、ポスター撮影、イベント出演など多岐に渡り、IBFからヘアメイクを出す機会もあります。これからの活躍が楽しみです。

ミス日本「水の天使」安井 南さん
ミス日本ミス着物、ミス日本みどりの大使のダブル受賞 安藤 きらりさん
ミス日本「海の日」有馬 佳奈さん
「準ミス日本」石村 彩華さん
※2024年グランプリは諸事情により空位。

そして今年もやります！IBFフォトコンテスト。昨年のテーマは“Think Pink”。素晴らしい応募作品が多く、接戦でした。今回はメイクアップヒストリーからのテーマ。過去には「Jazz Age throwback」というテーマで1920年代のメイクにトライしていただきましたが、今回は1960年代に想いを馳せて…。今回もたくさんの力作で審査員の皆様を悩ませてください！

香咲 弥須子 Profile

IBF理事。New York在住スピリチュアルカウンセラー。
NY DownTownにてヒーリングクラス及びカウンセリングセンターを運営。

作家、翻訳家、エッセイストとしても活躍している。

パンデミック後のニューヨーク

ニューヨーク州がコロナ禍でロックダウンとなったのは、2020年3月です。それから一年と数ヶ月のちに、コロナ終息宣言。

日本と比べるとかなり早いですね。宣言が出た日のデータを見ると、同年1月には一日の新規感染者19,000人を超えていたのが、半年で200名未満、成人のワクチン接種率（ファイザー、モデルナ、ジョンソン&ジョンソンに限る）が70%となっています。

この時点から、経済が本格的に再稼働したわけですが、その一年ちょっとの間に、わたしの友人たち多数も含め、かなりの住人がニューヨークを離れてしまいました。もちろん主な理由は経済的なものですが、ロックダウンの間に郊外の自然に触れに行き、都会生活にはない清々しさがそれまでより身に染みて、

「これからは自然の中でゆったりと人間らしく過ごしたい」と言って出ていった人たちも少なからず、います。

地域に愛されていた小売店の多くは店を畳まざるを得ず、店主たちもいなくなりました。

日本人も激減。

リモートワーク制度を始めた企業は、その体制を持続することに決めたので、遠方に越した社員たちは戻ってきませんでした。

つまり、一言にして、中心部マンハッタンは、ガラガラだったのです。路上もガラガラ。ビル内もガラガラ。空き店舗ばかりがずらり。ついでに言えば、日系食料品店の棚も物流の停滞でガラガラでした。

私のコミュニティセンター CRSも、大勢が集まるイベントができなくなって一年とちょっと過ぎた頃、大きなワンフロアを手放して、スペースを縮小することにしました。

そのうち、人口が増えてきます。観光客の受け入れも再開され、GAFA (Google, Apple, Facebook, Amazonの4社) のビルが構えられ、社員が流入してきました。

新しい飲食店が次々と登場（常に、新しい店が登場し続けるのがニューヨークの特徴でもあります）し、人の顔も、物価も、働き方、遊び方も以前とは違うニューヨークが始まりました。

ニューヨークが誇るパフォーミング・アーツの各分野は、経済的打撃を受けながらも、ほとんどのオーガニゼーションがなんとか立ち上がり、再開したそれらは、量、質共に、以前に比べて劣るものではありません。パンデミックの最中に、テクノロジーを駆使して創意工夫を凝らして続けてきた表現の伝達の力が、はっきり成果となっているようにも感じます。

パンデミック終息宣言から2年半。あちこちから友人知人が訪ねてくるようになりました。

「もうニューヨークには来られないかも。だって物価が高すぎる！」と悲鳴を上げた日本人は、何日間かの滞在後の別れ際には、「やっぱりまた来ると思う」と言いました。

「ニューヨークは変わったね。物価も人も変わった。でもさ、やっ

りニューヨークはニューヨークなんだよなあ。ここにしかないエネルギーと優しさが力を生むよね」とは、上海に越したファッションデザイナー。

最近では、フランス人の友人が10年ぶりに訪ねてきて、毎日、ダンスパフォーマンス、ジャズコンサート、ミュージアム、と精力的に飛び回り、「ニューヨークで飛び回ったらお金がいくらあっても足りないでしょう」と私は密かに心配していましたが、旅慣れた彼女はお財布の紐の開け方をよく心得ていました。

暖かな陽射しの昼下がり、私たちは、ワシントンスクエアパークのベンチで、ポルドーの栓を密かに開け、近くのパン屋さんで買ってきた焼きたてのバゲットとフランスからの新鮮なチーズを脇に置いて、安上がりの美味しいランチを楽しみました。斜め向かいでは、パンデミック中にニューヨークからピッツバーグに移った友人のミュージシャン、トムチェスが、いつの間にか戻ってきて（「やっぱり定期的にここに戻りたくなるんだよね」）ネイ（ペルーのフルーツ）を奏でています。もう一方ではトリオが演奏準備をしていて、その間では5人の若者がパントマイムの練習に真剣です。一見学生のように、でもよく観察すれば、上級レベルということがわかり、たぶんプロなのでしょう。

私たちは、ニューヨークらしい風景の中で、自分たちもまた、ニューヨークらしい“若い”過ごし方で、そのお昼を楽しんだのです。

忘れていました。ニューヨークに来た頃に、この都会は、お金がなくても楽しめるのだと感嘆したこと。

初めてニューヨークを訪れた1988年、何人かのアーティストに会いましたが、すでに名前が知られていたフォトグラファーとは、デリでコーヒーを買い（50セントだったと思う）、近くのビルの入り口の階段に腰をおろして、二時間近くもおしゃべりをしたのだったし、別の画家は、「じゃあ歩きながら話そうか。ニューヨーク案内もしてあげたいし」ということで、2番街を、ロウアーイーストサイドからミッドタウンまで、延々と歩き続けるというツアーをしたのです。

そんな“若々しい”時間の使い方、お金の要らない楽しみ方、自由さを、いつの間にか忘れていたのでした。

物価高に合わせて「もっとお金が欲しい」と考える代わりに、若さを取り戻したいと願う方がいいに決まっています。そして、この地に若さを取り戻すのは私たちの役目なのでした。

晩の便でロンドン経由でフランスに帰る友人を空港バスの乗り場で見送った後、私はfilm forumでJonny Lee Luisのドキュメンタリー映画を観て、続いての監督のイーサン・コーエンのトークに参加し、それから近くのミュージックブースで、DJが次々と選ぶままのジャズのあれこれに耳を傾けながら、その日の一杯、となったのでした（その一杯は、日本円にして2,000円を超えるお値段でしたけど）。

■IBF会員情報再登録のお願い

IBF正会員の方、NYMA受講生の方で、IBFからメールマガジン（月間1～2通配信）が届いていない方は正しいメールアドレスが登録されていません。IBFでは、重要事項も含めて、メールでお知らせする方法に切り替えておりますので、IBF会員の皆様には正しいメールアドレスの登録、再登録をお願いしております。大変お手数ですが、該当者（IBFからメールマガジンが届いていない方）は以下のフォームよりメールアドレス登録の更新をお願いいたします。

《メールアドレス登録（再登録）フォーム》https://www.ibf.or.jp/update_mail_address/

※アップル社ドメイン「icloud.com」をお使いの方へ

アップル社のセキュリティの都合でメールマガジンなどが届きにくい現象が続いています。「icloud」以外のメールアドレス またはGmail.comなどフリーのメールアカウントを取得してそちらのアドレスで再登録していただきますようお願いいたします。



登録フォーム

■N-001 【オンライン】メイクアップ講座オンラインスクーリング

Zoomを使ったオンラインスクーリング。講師と一緒にベースメイクから始めてフルメイクまでレッスンします。認定試験重要課題のうち今回は4月が「シャープ」、5月が「ウェディング」、6月は「ポリッシュ」をテーマに、セルフメイクで行います。講師によるチェック&アドバイス、質疑応答もできます。講師と実際に対話しながら進行しますので、レッスン上の不安解消、疑問点の解消に、ぜひご参加ください。カメラ/マイク付きのPCまたはスマートフォン、タブレット端末とWi-Fiなどネット環境があればどこからでも参加可能です。

開催日時：

2024年4月4日（木）10:00～12:00 シャープ
2024年5月14日（火）10:00～12:00 ウェディング
2024年6月18日（火）10:00～12:00 ポリッシュ

※120分（質疑応答含む）

※参加時必要なもの、参加方法など詳細はお申込みの方にお知らせします。

※カメラマイク付きPCまたはスマートフォン、タブレットなどと常時接続可能な回線環境。

※セルフメイクで行います。メイクを落とした状態で参加してください。

定員：各回6名まで

参加費：1回3,850円（税込）

申込：IBFビューティプロショップでチケットを購入してください。



■N-002 【会場開催】メイクアップ講座スクーリング

今回は東京会場で行います。「ウェディングメイク」のレッスンを行います。講師から直接指導を受けられるので、在宅でのレッスンに不安がある方にもオススメ。ベースメイク・アイメイク・リップ・チークの各パーツをテーマに沿ってレッスンします。各参加者のレベルに合わせた指導が可能ですので、レッスンを始めたばかりの方もご参加いただけます。

※ホームスタディコース受講中の方は、どなたでも参加いただけます。

申込受付期間：～開催日の2週間前まで受付。

※最少催行人数3名。定員になり次第締め切ります。

開催予定地・日程：東京2024年5月11日（土）13:00～17:30

定員：6名

参加費：7,150円（税込）

参加資格：直轄校NYMAホームスタディコース受講生のみ。

※申込者が3名に満たない場合は開催中止となりますのでご了承ください。

※男性受講生は女性モデルを同伴してください。（必須）

持参物：N.Y.Make-up Academyオリジナルテキスト・筆記用具・レッスン用化粧品一式・コットン・ティッシュ・綿棒等。

※参加申込者には改めて詳細をお送りします。

申込：IBFビューティプロショップでチケットを購入してください。



◆◆◆スクーリングのお申込みはIBFビューティプロショップからチケットをご購入ください。◆◆◆
<https://www.ibf-shop.com/view/category/ct7>



IBFビューティプロショップ

■スクーリングのお問い合わせ

NYMA指導部 TEL：03-5928-0130（受付時間／平日9:30～18:00） customer@nyma.jp

■IBF国際美容連盟認定 第85回 国際メイクアップアーティスト試験 第55回国際メイクアップアーティストインストラクター資格認定試験のご案内

2024年4月受験 在宅試験実施要項

受験資格：2024年3月31現在、IBFが指定する各スクール所定のカリキュラムを修了し、修了証書を有している者。

願書配布：2024年2月1日から配布。受験対象者にはスクール指導部から送付します。お手元に届かない場合はIBFへ直接請求してください。

受験料：国際メイクアップアーティスト11,000円（税込）
インストラクター 16,500円（税込）

受験料振込先：みずほ銀行 大塚支店 普通預金 2292633
口座名：一般社団法人国際美容連盟

振込期間：2024年4月1日（月）まで

願書提出期限：2024年4月1日（月）〈当日消印有効〉

願書提出先：〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-25-9 今井ビル5F
国際美容連盟 試験審査委員会 宛

試験問題発送日：2024年4月15日（月）

解答用紙の提出期限：2024年5月6日（月）〈当日消印有効〉

試験科目：実技／筆記（実技試験にはモデルが必要になります）

合否発表：2024年5月27日（月）（郵送予定）

登録期間：合否通知到着後～2024年6月17日（月）
※合格後の手続きになります。

登録料及び年会費：

国際メイクアップアーティスト：登録料…33,000円（税込）
年会費…13,200円（税込）

インストラクター：登録料…16,500円（税込）
年会費…13,200円（税込）

※既にIBF正会員の方は年会費を重複していただくことはありません。

認定証発送：2024年7月9日（火）予定

願書請求・お問合せ先：IBF国際美容連盟 03-5928-3800（代）
（受付時間／平日9:30～18:00）

■IB-001 【会場開催】『M・A・C』トレンドメイクセミナー

世界中で大人気のコスメブランド『M・A・C』のアーティストによる会場での対面セミナーが決定！ 前回開催から約5年ぶりに会場開催です！ 会場はM・A・Cのトレーニングルーム。

M・A・Cのクリエイターある中林星来さんによる、最新のバックステージトレンド、M・A・Cのブランド紹介や新製品紹介、トレンドメイクアップのデモンストレーションなどを行います。

M・A・Cファンはもちろん、メイクアップアーティスト、メイクアップアーティストを目指す方必見のセミナーです。

日程：2024年5月18日（土）13:00～14:30

会場：M・A・Cトレーニングルーム（東京丸の内）

費用：IBF正会員5,500円 受講生6,600円 一般8,800円（税込）

講師：中林 星来（M・A・Cクリエイター）

申込：IBFビューティプロショップでチケットをご購入ください。



■IB-002 【会場開催】宮本盛満来日特別セミナー Paris Collection 2024 A/W トレンドメイクワークショップ

大変お待たせしました！宮本盛満来日セミナー、約4年ぶりに開催決定しました！パリ在住、パリコレで活躍中のトップアーティストの対面セミナーです！コレクションと言えばパリコレというくらい、やはりほかのファッションウィークとは一線を画すパリコレ。そのパリコレのバックステージで現在も活躍中のアーティスト宮本氏。2024年春に行われたばかりのパリコレクション。ホヤホヤトレンド情報を盛り込んだメイクセミナーは、宮本講師による直接指導の実技レッスンも含む大変貴重なセミナーです。ぜひご参加ください！

日程：2024年4月27日（土）13:00～17:00

会場：東京都豊島区池袋セミナールーム

費用：IBF正会員7,700円 受講生8,800円 一般11,000円（税込）

申込：IBFビューティプロショップでチケットをご購入ください。

講師：宮本 盛満（パリ在住メイクアップアーティスト）

パリコレクションだけでなく、雑誌、CM、オペラなど活動の幅は広く、CMではチャン・ツイイー、ディビッド・ベッカムなど、オペラでは、ルネ・フレミング、ナタリー・デセイ、アンジェラ・ゲオルギューなどのヘアメイクを担当、世界中のセレブリティとプライベートでも親交を深めている。

日本でも、女優、俳優からの信頼も厚く、美容学校やセミナーの講師を務める一方、大手化粧品会社に対しパリのファッション動向についてコンサルティングを行ったり、撮影に参加したりするなどしている。東京都出身。



《宮本盛満プロフィール》

1991年に渡仏、以降パリを拠点に世界を飛び回るヘアメイクアップアーティスト。

◆◆◆セミナーのお申込みはIBFビューティプロショップからチケットをご購入ください。◆◆◆

<https://www.ibf-shop.com/view/category/ct7>



IBFビューティプロショップ

■年会費口座振替のご案内

【重要】IBF国際メイクアップアーティスト正会員年会費の口座振替の事前ご案内（郵送）は控えさせていただいておりますのでご了承ください。IBFの年会費13,200円は毎年1回、会員登録時にご提出いただいた口座振替依頼書記載のご指定口座からIBFが指定した月（5月／8月／11月／2月のいずれか1回）に自動振替させていただいております。指定月の27日（27日が金融機関

休業日の場合は翌営業日）に振替させていただきますので、前日までに口座残高の確認をお願いします。

※今回は正会員番号の上7桁が1000005又は上4桁が1005の方が対象となります。振替日は2024/5/27（月）になりますので5/24（金）迄に残高確認をお願いします。

※振替完了通知は行っておりませんので予めご了承ください。

■IBF国際美容連盟のオフィシャルSNS等のご案内

お得なキャンペーン、セミナー告知など様々な情報をいち早く配信しています。ぜひフォローして最新情報をチェックしてください！



【Instagram】
IBF : ibf_insta
NYMA : nyma_make



【X】(旧Twitter)
IBF : ibf_japan
NYMA : nyma_make



【Facebook】
IBF : ibfjapan
NYMA : nymamake



【LINE】
@nyma



【BLOG】
<http://ameblo.jp/nyma-make/>



YouTube 【YouTube】

NymaJp77



■求人情報

求人情報をIBF国際美容連盟ホームページで公開しております。

URL <https://www.ibf.or.jp/recruit/>

より多くの求人情報を公開できるよう、求人企業様との窓口を変更し、随時公開しています。現在までに公開した求人情報提供企業様の一例です。（現在募集終了しているものもありますのでウェブサイトでご確認ください。）

（順不同）M・A・C／BOBBI BROWN／エスティローダー／RMK／ADDICTION／JILLSTUART／ポール＆ジョー ボーテ／shu uemura／ランコム／そごう・西武／高島屋／三越伊勢丹／ファンケル／オルビス／ちふれ化粧品／アトリエはるか／ケサランパサラン／カバーマーク／Dior／ジバンシイ／THE BODY SHOP

※求人情報一覧にはパスワード入力が必要な情報も含まれますので、以下のID及びパスワードを入力の上、ご覧ください。

ユーザー ID : user パスワード : ibfjop

The 56th Miss Japan Contest 2024 第56回ミス日本コンテスト2024

IBF国際美容連盟がシルバースポンサーとしてサポートしているミス日本コンテスト。2024年度の各賞受賞者が決定しました！コンテストファイナリストへのメイクアップ勉強会を担当したIBF本部講師の鎌林泉も応援に駆け付けました。

コンテストは着物審査からスタート。それぞれ和服に身を包んで一人ずつステージに登場します。歩き方や身のこなし方、立ち居振る舞いのすべてが審査対象とあって、さすがに皆さん緊張気味。着物審査では、全員が自己紹介のスピーチをします。

今回のファイナリストは大学生が多かったようです。東京大学2名、慶應義塾大学、早稲田大学、関西大学、日本女子大学など、学生として学んでいる分野と将来の夢などをしっかりとアピールしていました。



次に行われるのがドレス審査。着物審査とはまた違う優雅なイメージ。

ドレス審査では審査員からの質問コーナーがあります。コンテスト出場者泣かせのこの企画、審査員からの難問に、その場で答えなければなりません。これまでファイナリストが勉強会などで学んだこと、ミス日本コンテNDERとして身に付けてきた知識や教養が試される時です。



質問は二つありました。

「これまでで経験したこと、あるいは周りから聞いたエピソードなどで、他者に心を寄せる出来事を教えてください」そしてもう一つが「あなたの隣の出場者の良いところを教えてください」というもの。

「隣の方の良いところ」を意識することは他者を思いやる心を忘れないためにもとても大切なことです。特にコンテストのような場では、とすれば競い合うことに集中してしまい、ついつい周りへの思いやりがおろそかになりがちです。半年以上に及ぶファイナリスト勉強会でコミュニケーションも十分取れていたようで、皆さん楽しそうに隣の方を褒めていました。



2023年ミス日本各賞受賞者の皆さん



昨年のミス日本みどりの大使上村さや香さんが歌を披露

ここで昨年2023年度のミス日本グランプリなど各賞受賞者がステージに登場し、一年間の活動を報告。その任期を終える挨拶もありました。会場からは皆さんの活躍、活動に対して、惜しめない拍手が送られました。

審査の最後はスポーツウェア審査。ステージに登場するときも、アクティブにポーズをとる方が多かったですね。ここではさらに審査員からの質問があります。「私ならこういうリーダーになる。あるいは私だったらこんな形でリーダーシップを発揮できる、ということをお願いします」「もしあなたが外務大臣に就任したらまっさきにどこの国に行って誰と逢いたいですか」こちらも難題でしたがそれぞれ、ご自分の思いを伝えられていたと思います。

スポーツウェアの審査ですべての審査が終了。いよいよ受賞者の発表です。ここからは各賞受賞者をご紹介します。



IBFから鎌林泉が応援に

◆受賞者紹介

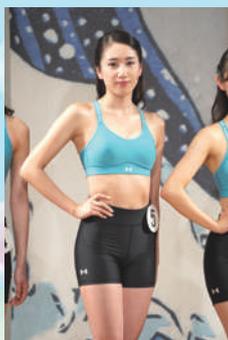
ミス日本「水の天使」安井 南さん

神奈川県横浜市出身の安井南さんは19歳の大学生。古武術、空手、剣道が特技で趣味はなんと「木刀素振り」。テコンドーやムンチャクも習得した武道女子。多くの人に武道精神を伝えていくことが夢で、予想できない打撃で、「その手があったか!」と見ている人の1本を取る俳優になると語っています。



ミス日本みどりの大使、ミス日本ミス着物ダブル受賞 安藤 きらりさん

東京都出身の安藤きらりさん23歳、慶應義塾大学商学部4年。趣味は水泳と「ニワトリの飼育」。将来の夢は介護と教育に関わる事業を行うこと。



ミス日本「海の日」 有馬 佳奈さん



鹿児島県鹿児島市出身の有馬佳奈さん22歳、東京大学前期教養学部理科一類2年生。ドローンを自分で作ることができるという。航空宇宙関係の研究をしたいとのこと。将棋も全国大会に出場する腕前で、「飯島流引き角戦法」という将棋の戦法が得意と、将棋の世界でも話題になっています。



準ミス日本 石村 彩華さん

大阪府出身の石村彩華さん20歳、関西大学商学部2年生。たくさんの人に笑顔や元気を届けられるアナウンサーになることが夢。小中高とバスケットに熱中し、好きな選手は日本代表の河村勇輝さんということで、特にスポーツの魅力を伝えるスポーツキャスターになりたいとのこと。



Photo Session with Grand-Prix Winner

フォトコンテストグランプリ受賞者フォトセッション

2023年第18回IBFフォトコンテストで見事グランプリを受賞された、ECCアーティスト美容専門学校の畑下采さんとのフォトセッションを行いました。グランプリの副賞としてIBFが、撮影スタジオ、モデル、フォトグラファーを用意して毎回実施しています。

まずは日程を確定し、スタジオ、フォトグラファーのスケジュールを確保。その後モデル事務所からスケジュールOKのモデルさんのコンボジットをいただき、ヘアメイクさんにモデルを選んでいただきます。その後、ヘアメイクのイメージを決めて、全員で共有し、いよいよ当日。

初めて使うスタジオの場合は、道順などを事前によく確認しておきます。スタジオの備品なども確認しておくとういすね。

スタジオに全員集合したら、まずは簡単な顔合わせ、打ち合わせをして当日のスケジュールや衣装、小物、写真の背景などを共有します。

そしてヘアメイクスタート！時間配分はヘアメイク90分、撮影30分と決めてあります。



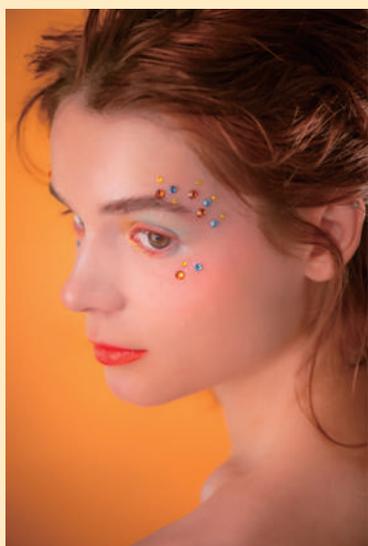
この日の1パターンめは、ピンク系のメイク、ヘッドアクセを使用した、華やかなヘアメイク。ヘアメイクさんは準備万端でこの日に臨んだようで、テキパキとメイクアップ、ヘアを作り込んでいきます。ほぼ時間内に仕上がり、テストシュートとして、何枚か撮影し、色の出方、照明などをチェック。

この時、モデルさんの服装がチューブトップの方が写真の見栄えがグンとよくなるとフォトグラファーさんの提案。

チューブトップは持ってきていないので、なんとか手元にある衣装を使って対応することに。

撮影してみないとわからないこともあるので、このような時に、臨機応変に対応するスキルもスタジオでは重要です。

ヘアメイクの撮影ではバストアップ、またはアップが基本ですが、引いたり、寄ったり、モデルさんのポーズや表情なども変えてたくさんの写真を撮影します。撮影後、データを見ながら、ベストショットをどれにするかヘアメイクさんに決めていただきます。たくさんの写真をみているうちに、だんだんどれがいいのかわからなくなってしまうことがあります。全部いい写真に見えてきて一枚選ぶのは難しいですね。でもそれを選ぶのも大切な作業。この日のディレクターはヘアメイクさん自身ですから、しっかり選んでいただきました。



2パターン目はオレンジの背景、メイクは顔にラメやストーンを貼って仕上げます。一枚目よりは、ちょっとゴージャスな雰囲気です。ヘアメイクも慣れてきたようで手早く完成です。この日のモデルさんはLeraさん。

撮影中に時折見せる笑顔がキュートなモデルさんですが、撮影イメージがわりと締まった表情だったので、あまり笑顔の写真はありません。

今日本語を勉強中で、英語なら話せるとのこと。ヘアメイクさんもやはり英語ができるというですね。

2パターンとも撮影の最後はモデルさんとヘアメイク畑下采さんの2ショットで終了。素晴らしい写真がたくさん撮れました！この冊子の表紙と裏表紙にも早速使わせていただきました！



Artist Interview

CHISATO

今回ご紹介するのは、オーストラリア、シドニーをメインに世界で活躍中のメイクアップアーティストCHISATOさん。昨年一度お会いする機会がありましたが、とにかくポジティブな方。面白いこと、楽しそうなことがあればグイグイと前に進むアグレッシブさも持っていらっしゃるとても素敵な方です。何か楽しそうな企画が実現するかも？ それではインタビューをご覧ください。

Q1. まずは簡単に自己紹介をお願いします。得意とするメイクアップスタイルなど。

A1. シドニー、オーストラリアをベースにインターナショナルにメイクの仕事をしています。留学先のロサンゼルスでメイクの仕事に魅了されメイクとヘアーを学び現在に至ります！得意とするメイクは綺麗な肌作り、陶器の様なスキンを作ります。それと、独創的なメイク、ショーメイクは得意とするところです。

Q2. メイクアップアーティストになろうと思ったきっかけは？

A2. パートタイムでムービーの仕事のメイクのアシストをした際に褒められた事がきっかけですね、それとやっている時メチャクチャ楽しかったというのが一番大きなきっかけです。



Q3. メイクアップの技術はどのようにして学びましたか？

A3. メイクのスクールに通いながら、沢山のプロのメイクアップアーティストの方達のアシスタントの仕事をやらせて頂き、そこで生きた使えるテクニックを学ぶ事が出来ました。

Q4. 尊敬するメイクアップアーティストは誰ですか？

A4. 一番長くショーメイクのメンバーを務めたPAT McGrath (パットマグラス)、そして、日本初のメイクアップアーティストであるSHU UEMURA (植村秀)。

Q5. 好きな画家、アーティストはいますか？好きな理由も。

A5. JEAN-MICHAEL BASQUIAT. ユニークで大胆な色使い、かつ繊細な作品がすごく魅力的なんです。

Q6. 好きな映画は？好きな理由も。

A6. めっちゃあるのですが、一つだけと言われたら、CITY OF ANGEL、あり得るストーリーの様であり得ない、あり得ない様であり得るかも。こんな感じの不思議なムービーが好きなんです。

Q7. アメリカ、オーストラリア、ヨーロッパなど各地でご活躍されていますが、一番好きな都市はどこですか？その都市の魅力も簡単に教えてください。

A7. 好きな都市は自分が住んだことのあるNY、LONDON PARIS & SYDNEY！お金を稼ぐならNEW YORK、いい作品作りたいならPARIS & LONDON、ライフを楽しみながら仕事するにはここSYDNEY!!





Q 8. メイクアップアーティストとして、コロナ、アフターコロナの時代とコロナ以前で、どのような変化がありましたか？

A 8. オーガニック的なナチュラルメイクが主流になりましたね、頑張っていない抜け感のある 楽な感じのね、完璧に作り込まないのがカッコいいみたいのが今かな、私はすごく好きですね。



Q 9. メイクアップアーティストのキャリアで一番驚いた現場での出来事を教えてください。

A 9. それはNY FASHION WEEKでの出来事、VERA WANGのショーのメイクチームに入っていて、キーマイクアップのLUCIA PIERONI、私の大好きなメイクをする有名なインターナショナルで大活躍のアーティスト！



彼女との仕事でテンション上がりまくってめっちゃ気合が入ってメイクも最高の出来とばかり意気揚々と彼女にチェックしてもらいに行くと、“GREAT!”でも完璧すぎよ、と言って私のメイクをブラシでハラハラとり散らかしたの。そして、ほら生きたわ！って言われた時！目が覚めたのね、生きた（息をしている様な）そんな作品を作らなきゃ！って。

Q 10. 普段気に入って使っているメイク道具や化粧品をいくつか教えてください。

A 10. 私の一番好きなツールはフィンガーです！指は最高に使えます。

Q 11. あなたの夢、将来の希望を聞かせてください。

A 11. このまま死ぬまでメイクアップアーティストでいたいですね。

Q 12. 最後に日本のメイクスクールの生徒たちにメッセージをお願いします。

A 12. 私の大好きな言葉、FOLLOW YOUR PASSION！（あなたの情熱に従って生きて！）そして、DON' T SETTLE、（妥協しちゃうダメだよ）。

CHISATO Profile

CHISATOの作品は細部へのこだわり、色の創造的な使用、そして各クライアントにユニークで美しい外観を創り出す能力で良く知られています。ニューヨーク、L.A（ハリウッド）でキャリアを積み、現在、シドニー、オーストラリアをベースにインターナショナルに活動しています。

INSTAGRAM & TikTok チェックしてみてください！

Instagram @chisarai TikTok @chisarai_makeup

Website makeup & hair / CHISATO CHRIS ARAI

Tokyo : AVGVST International

#202 1-8-21 Nishi-azabu Minato-ku Tokyo, Japan 106-0031 Tel:+81 (0)3-5785-3393

agent@avgvst.com

www.avgvst.com



新規会員登録の方にポイントプレゼントキャンペーン

今すぐ使える

500
Present
P

IBFビューティプロショップはよりよい商品をたくさんご紹介するため
そしてショップの使いやすさを改善するために、リニューアルいたしました！
今後ともIBFビューティプロショップをご愛顧いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

新規登録キャンペーン中！

2023/8/26(土)スタート 新規登録者さま全員に500ポイント進呈。

※旧ショップで登録されていた方は除く



旧ショップ登録者でパスワード再設定が済んでいない方は会員情報をはじめポイント・クーポンの引継ぎができますので
customer@ibf-shop.com から送られている「【IBFビューティプロショップ】ショップ移転のご案内です」というメールをご確認ください。
※メールが見つからない方は個別にメールを送信しますので、customer@ibf-shop.comまでお問い合わせください。

Pick up

ピックアップ商品

ショップスタッフのこの時期おすすめ商品！

Linda Masonブラシ5種セット【数量限定】



4,675-5,500円

クレイ・クリームファンデーションキット



2,823-3,321円

コントロールカラーベース ピンク



561-660円



ご利用案内

新規会員登録



IBF正会員、NYMA受講生であっても、ショップには別途会員登録が必要です。
ショップ会員限定のクーポンなどお得なメルマガ配信もございますのでぜひご登録ください。



ご購入の流れ

会員価格でのお買い物にはログインが必須となります。
IBFビューティプロショップへの会員登録をお済ませの上ご利用ください。
※ログインせずお買い物した場合は通常価格でのご提供となります

PCからの場合



スマホからの場合





Hair&Makeup:Aya Hatashita Model:Lera Photo:Ayako